

県内新設住宅着工戸数の 令和2年度状況

(令和2年4月～令和3年3月)

令和3年5月10日

富山県土木部建築住宅課

[事務担当] 建築指導係

TEL:076-444-3356(直通)

令和3年5月10日
土木部建築住宅課

県内新設住宅着工戸数の令和2年度状況について

(令和2年4月～令和3年3月)

本県の令和2年度の新設住宅着工戸数は5,173戸で、前年度比12.6%減となった。
利用関係別では、持家が前年度比7.2%減の3,031戸となり、貸家は20.9%減の1,614戸、
給与住宅は73.1%減の7戸、分譲住宅は11.2%減の521戸となった。
構造別戸数では木造が前年度比11.8%減の4,406戸、非木造が17.0%減の767戸となっ
た。
また、建方別戸数では、一戸建が前年度比9.1%減の3,471戸、長屋建が前年度比25.8%
減の830戸、共同住宅が前年度比11.1%減の872戸となった。

1 新設住宅着工戸数の動向について

- (1) 本県の令和2年度(令和2年4月1日～令和3年3月31日)の新設住宅着工戸数(以下「新設住宅」という。)は、5,173戸(前年度5,919戸)であり、前年度比12.6%減となった。
- (2) 市町村別の新設住宅は、戸数が多い順に、富山市(2,828戸)、高岡市(754戸)、射水市(430戸)、黒部市(176戸)、砺波市(172戸)となっている。

2 利用関係別(持家、貸家、給与住宅、分譲住宅の4分類)について

- (1) 持家は、3,031戸(前年度3,265戸)で前年度比7.2%減、新設住宅に占める割合は58.6%(前年度55.2%)であった。
- (2) 貸家は、1,614戸(前年度2,041戸)で前年度比20.9%減、新設住宅に占める割合は31.2%(前年度34.5%)であった。
- (3) 給与住宅は、7戸(前年度26戸)で前年度比73.1%減、新設住宅に占める割合は0.1%(前年度0.4%)であった。
- (4) 分譲住宅は、521戸(前年度587戸)で前年度比11.2%減、新設住宅に占める割合は10.1%(前年度9.9%)であった。

3 構造別（木造、非木造の2分類）について

- (1) 木造住宅は、4,406戸（前年度4,995戸）で前年度比11.8%減、新設住宅に占める割合は85.2%（前年度84.4%）であった。

木造住宅のうち、在来工法は3,722戸（前年度4,073戸）で前年度比8.6%減、新設住宅に占める割合は72.0%（前年度68.8%）であった。プレハブは33戸（前年度33戸）で前年度と同数、新設住宅に占める割合は0.6%（前年度0.6%）であった。ツーバイフォーは651戸（前年度889戸）で前年度比26.8%減、新設住宅に占める割合は12.6%（前年度15.0%）であった。

- (2) 非木造住宅は、767戸（前年度924戸）で前年度同期比17.0%減、新設住宅に占める割合は14.8%（前年度15.6%）であった。

非木造住宅のうち、在来工法は284戸（前年度378戸）で前年度比24.9%減、新設住宅に占める割合は5.5%（前年度6.4%）であった。プレハブは483戸（前年度546戸）で前年度比11.5%減、新設住宅に占める割合は9.3%（前年度9.2%）であった。

4 建て方別（一戸建、長屋建、共同住宅の3分類）について

- (1) 一戸建は、3,471戸（前年度3,820戸）で前年度比9.1%減、新設住宅に占める割合は67.1%（前年度64.5%）であった。

- (2) 長屋建は、830戸（前年度1,118戸）で前年度比25.8%減、新設住宅に占める割合は16.0%（前年度18.9%）であった。

- (3) 共同住宅は、872戸（前年度981戸）で前年度比11.1%減、新設住宅に占める割合は16.9%（前年度16.6%）であった。

5 資金別（民間資金、公営、住宅金融支援機構、都市機構、その他の5分類）について

- (1) 民間資金住宅は、4,806戸（前年度5,243戸）で前年度比8.3%減、新設住宅に占める割合は92.9%（前年度88.6%）であった。

- (2) 住宅金融支援機構（旧住宅金融公庫融資住宅）は、338戸（前年度619戸）で前年度比45.4%減、新設住宅に占める割合は6.5%（前年度10.5%）であった。